

# 令和4年度 年間授業計画

東京都立練馬工業高等学校

教科	理科					科目	科学と人間生活
クラス又は班	11	12	13	14	15	単位数	使用教科書・教材
担当者						2	実教出版「科学と人間生活」 実況出版「高校化学基礎カラーノート」

## 教科・科目のねらい(目標)

<b>【知識及び技能】</b>	<b>【思考力、判断力、表現力等】</b>	<b>【主体的に学習に取り組む態度等】</b>
物質とその変化についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

学期(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定時数	
			知	思	態		
1 学 期	4	物質の構成元素 物質の成分	身近な物質 混合物と純物質			○ ○ ○	22
	5	物質の成分 物質の構成元素	【実験】ガスバーナー 混合物の分離と精製			○ ○ ○	
	6		【実験】混合物の分離 化合物と単体 成分元素の確認			○ ○ ○	
	7		確認テスト 状態変化と熱運動			○ ○ ○	
2 学 期	9	原子の構造	原子と原子の構成、同位体 電子配置と価電子			○ ○ ○	30
	10	元素の相互関係 物質と化学結合	【実験】炎色反応と固形燃料 元素の周期表 イオン			○ ○ ○	
	11	物質と化学結合	イオン結合とイオン結晶 【実験】イオン			○ ○ ○	
	12		確認テスト			○ ○ ○	
3 学 期	1	分子と共有結合 金属と金属結合	共有結合、構造式、分子の形 金属結合と金属結晶			○ ○ ○	18
	2	酸と塩基	酸と塩基、pH 【実験】身近な酸と塩基			○ ○ ○	
	3		確認テスト			○ ○ ○	

年間予定授業時間数

70

評価の方法	1. 授業態度(出欠・遅刻の状況、意欲、集中度、忘れ物等) 2. 実験、実習(実験の取り組み、課題の出来ばえ、創意工夫等) 3. 提出物(授業プリント、ノート、実験レポートの提出と取り組み状況) 4. 小テスト(単元ごとに実施) 5. 確認テスト(学期に3回実施)  以上の5項目について総合的に判断し、評価の観点に従い評価する。
備考	